

報道発表

令和4年11月18日
名古屋税関
中部空港税関支署



令和4年10月分 中部空港 貿易概況（速報）の要旨

令和4年10月分について、輸出は「電気計測機器」、「自動車用等の電気機器」などが減少したものの、「半導体等電子部品」、「原動機」、「半導体等製造装置」などが増加したことから対前年同月比 19.4%の増加となった。また、輸入は「医薬品」、「半導体等製造装置」などが減少したものの、「原動機」、「半導体等電子部品」、「事務用機器」などが増加したことから、同 20.3%の増加となった。

その結果、差引額は406億円の輸出超過となった。

区分	輸出額	伸率	輸入額	伸率	差引額（▲は輸入超過）	伸率
中部空港	1,230億円	+19.4%	824億円	+20.3%	406億円	+17.6%
	23カ月連続の増加		18カ月連続の増加			

概況品名			金額	伸率	概況品名			金額	伸率
輸出	増加品目	(1)半導体等電子部品	246億円	+42.3%	輸入	増加品目	(1)原動機	175億円	+51.5%
		(2)原動機	52億円	+67.2%			(2)半導体等電子部品	126億円	+38.5%
		(3)半導体等製造装置	39億円	+116.8%			(3)事務用機器	31億円	+38.6%
	減少品目	(1)電気計測機器	74億円	▲14.2%		減少品目	(1)医薬品	47億円	▲29.9%
		(2)自動車用等の電気機器	7億円	▲35.1%			(2)半導体等製造装置	13億円	▲40.2%
		(3)電池	1億円	▲63.0%			(3)有機化合物	6億円	▲59.0%
主要地域 増減		アジア、アメリカ、EUが増加			主要地域 増減		アメリカ、アジア、EUが増加		

（参考）ドルレート・・・145.09円（前年 111.42円）30.2%の円安ドル高

（注）月間ドルレートは、税関長が公示する相場を当該相場が適用された日数で加重平均したもの。